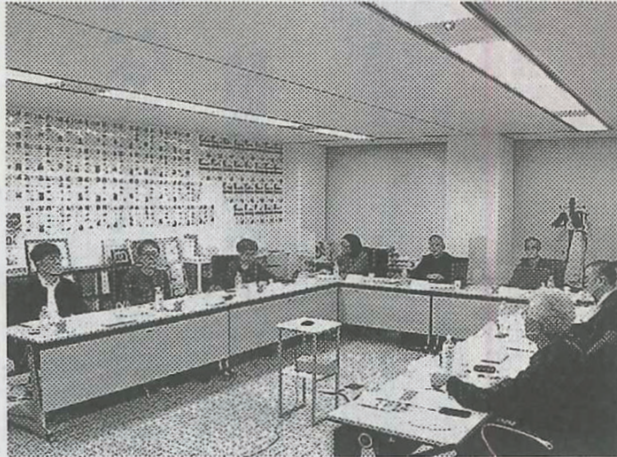


2020年10月14日 日刊建設工業新聞

北関東8大学建築系学科



北関東地域の8大学の建築系学科は10日、連携して実施している合同ゼミ「まちデザイン

まちデザインテーマに座談会

インゼミ」をテーマにしたオンライン座談会を開いた。写真。年1度のペースで、幹事校にゆかりのある地域を歩き、魅力や課題を発見する合同ゼミを行っている。新型コロナウイルスのため、今年はオンライン形式の座談会に変更。教員9人が登壇し、取り組みの意義や今後の可能性、建築家とまちとの関わり方などを意見交換した。

総合資格学院（岸隆司学院長）が協賛しており、東京都新宿区の総合資格本社内で実

総合資格学院が協賛

施。オンラインで学生約70人が視聴した。

司会を務めた武蔵野美術大学の鈴木明教授は「まだまだ足を運ぶべきところがある。これから活動が続けていく」と呼び掛けた。歴代の幹事校による活動も紹介された。座談会の様子は記録誌に収録される予定。

同ゼミは、教員同士の交流をきっかけに2014年に開始。宇都宮大、前橋工科大、信州大、日本工業大、東京理科大、武蔵野美術大、筑波大、茨城大が参加しており、21年度から千葉大と足利大も参加する予定という。